

兵庫県立豊岡総合高等学校

〒668-0023 兵庫県豊岡市加広町6-68 ☎0796-22-7177

活動団体 インターアクトクラブ 活動人数 20人 主な活動時間 部活動として

海岸漂着物回収活動 ～おむ君の長い旅～

きっかけ

豊岡総合高校インターアクトクラブは、毎年東北気仙沼で支援交流ボランティアをしている。そこで漂着ブイの半分をカットしてプランターにしているのを見た。これだと思い、漂着ブイをカエルのように見立て再利用したことで、海岸清掃で回収されたごみが、きれいな花の苗床として生まれ変わったのだった。

兵庫県の最北端、猫崎半島には海洋ごみが多く流れ着き、海岸の美観はもちろん、漁業や絶滅危惧種の生息環境への影響が心配されていた。同クラブの先輩たちは、2011年から毎年3月にこの海岸での清掃活動と呼び掛け、2022年で10回目の実施となった。



毎年3月に行う海岸漂着物清掃活動も10回目となった。

活動内容

30人ほどで始まった3月の海岸清掃は、今では県内外から200人以上が参加。3月のほか、夏にはカヌーに乗り、岩場や人が入れないところ、テトラポッドの間などにある漂着物を、素手や手製のモリなどで回収している。

海岸清掃では「捨っても捨ってもキリがありません」と生徒は話す。最大の問題は、漂着物となった、網や船に係留するプラスチックブイだ。処理困難物として引き取り手がないなかで、生徒たちは再利用に取り組む。電動ノコギリなどで加工してプランターを作り、花の苗を植えて市役所、郵便局、商店街、駅などに配って、海ごみゼロの啓発活動につなげてきた。

こうした活動は、電子紙芝居『おむ君の長い旅』にまとめ、子どもたちに海洋ごみをなくす大切さを発信している。



電子紙芝居『おむ君の長い旅』。

成果

10年あまりの活動で、海の水質が改善し、質の良い岩ノリ、サザエなどが収穫されている。ザトウムシ、ナミキソウなどの絶滅危惧種の生息も引き続き確認でき、保全にも役立っているといえそうだ。電子紙芝居『おむ君の長い旅』は子どもたちに好評。さまざまなコンテストで受賞し、地元のテレビ局で放映されたことも、啓発活動につながっている。

活動エピソード

海岸清掃は「班分けなし、班長なし」の共同作業が基本。知らない人同士で声を掛け合って、助け合いながら、目に見えて海岸が奇麗になっていくのが醍醐味だ。高校生にとっても、さまざまな参加者から幅広い社会貢献活動の話を聞き、勉強になっている。

今後の展望

海岸漂着物回収活動は、SNSやマスコミなどを通じて理解者を増やし、より多くの人に参加してもらえるようにしたい。プランターや電子紙芝居を通した啓発活動も継続しながら、海岸ごみのない世の中を目指していく。